

「東海市公共建築物等設計方針」の策定について

背景

脱炭素社会の実現、バリアフリー化の促進、木材利用の促進など、建築設計の取り巻く環境の変化に伴い、求められる要求や課題が多くなっている。近年、新築・増築工事を実施したなかでも、それぞれに課題や改善点が見受けられたことから、統一的な考え方にに基づき設計を行うための基本方針を定めたものです。

現状

経済性

環境

耐久性

バリアフリー

安全性



新たな要求項目

省エネ・脱炭素

木材活用

ユニバーサルデザイン

IT活用

長寿命化

近年の新築・増築工事

良い点

- ・内装の木質化
- ・扉で指を挟まない扉等、利用者への安全配慮
- ・通風を考慮した窓配置

改善点

- ・材料や仕様が高価で改修時の費用が高い
- ・複雑な外観と平面計画
- ・敷地全体の段差処理



統一的な考え方にに基づき設計を行うための基本方針が必要

東海市公共建築物等設計方針

- ・経済性、長寿命化
- ・安全性
- ・省エネ、環境
- ・木造化、木質化
- ・バリアフリー
- ・防災機能
- ・地域密着型施設は、華美なデザインは避け、維持管理が容易に行える計画
- ・庁舎は、原則、免震構造
- ・原則、ZEB Ready以上とし設備改修は省エネ設備を採用
建築後の性能検証を実施（コミッショニング）
- ・改正した市木材利用促進方針に合わせ、木造化、木質化を推進
- ・高齢者障がい者等用便房やジェンダーレストイレの設置を考慮
- ・災害時等の対応として、建築地下空間に防火水槽の設置を検討